

実施事業名	NPOのための情報発信講座 想いを伝えるには!! チラシはラブレター2006」	
事業の内容	現状	対象・ニーズの動向 NPOはより高い専門知識やマネージメント能力,生きた,より効果的な情報発信力が要求されているため,その能力向上,情報発信力の向上を図る。 また,市民活動団体が団体の情報をより効果的に発信するためのノウハウを学ぶ。
	目的	対象(何を,誰を) NPO関係者,ボランティア関係者
		意図(どのような状況にしたいのか) ・市民活動団体がより効果的に情報を発信するためのノウハウを学ぶ (情報発信力の向上をめざす) 1回目は「チラシ作成」の効果的な情報発信のノウハウを学ぶ 2回目は「目を引くデザイン」についてを学び,Wordを使って実際に制作していく
	手段	活動内容(どうすることによって:事業内容・やり方・手段) 1回目 講義 ・「目を引く効果的な情報発信とは」についての講義 想いを整理する 2回目 講義&ワーク チラシに載せるデータの整理 ・目を引くデザインや,チラシ作成の留意点 ・ワーク(Wordにて作成)
実施主体	高松市ボランティア・市民活動センター	
予算	1回目 36,000円,2回目 36,000円	
決算(見込み)	37,458円	
受益者負担	1回目 :@500円×5名,2回目@500円×11名	
目標達成度	目標としている状態 (できるだけ数値化) 注 市民参加事業については参加者数を必ず記入	参加予定 各回20名 1回目ではマスコミ関係者より,想いが伝わる効果的なチラシ,目を引くチラシとはについての知識を身につけてもらう。2回目では見やすいデザインについて等を学び,実際にワードで製作する。
	事業成果 注 市民参加事業については参加者数を必ず記入	・1回目参加者 9名,2回目参加者 14名 参加者数は比べると少なかったが,1回目ではマスコミの方から,マスコミへの情報提供の際気をつけること,マスコミが紙面等で取り上げるポイント等について学ぶことができた。また2回目では,いいデザインのポイントを学び,ラフ案を作成し,実際にワードでチラシを作っていた。
	センターの意見・感想	今回は1回目の講師の方がこれまでと変更になった為,講師に前回・前々回の資料を提供し,何度か打合せの場を設けた。 昨年上がった意見をできるだけ反映し,今回は2回構成にすることで講義もワークもじっくり行うことができた。特に2回目は現場でよく使われるワードを使った講習だったため,ちょっとした技やポイントを聞き,完成したチラシを見て参加者の方は非常に喜んでいました。 今回は参加者が少なかった。2回開催で時期が離れていたこと(1週間空き),11月12月は他の団体のイベント等とかぶることなどが考えられ,今後それらを考慮して企画を考える必要があると感じる。
	市の意見・感想	「想いを伝えるには!! チラシはラブレター」の講座はこれまでも好評を得ている事業であり,ニーズも高いと思われます。 今回,参加者数が少なかったことは残念ではありますが,センターの意見にもあるように開催時期などを検討することで改善されると思います。
受益者満足度	・アンケートを見る限り,参加者の満足度は高いものだった。リピーターの方も何人かおり,講師の方が親しみやすく解りやすい,といった声が多かった。 また,各回とも講座終了後,講師に質問に行く方が多数おり,個別に相談にのってもらったり,参加者同士で交流したりでき,そういった意味でも満足度は高かったのではないかと。	

<p>事業の改善策と改善により期待される効果</p>	<p>・上でも述べたが、企画時、講座の回数と時期等について参加者が参加しやすいよう考慮することで、参加者の確保が望めるのではないか。 今後もレベルに合わせての研修は必要だと感じる。どこに対象を置くかを明確にし、長期的に実施することで、ニーズに応えられるのではないか。</p>
<p>協働づくり委員会意見感想</p>	<p>参加者を多く集められる講座は現実には限られます。ある程度ニーズが分かっている内容であれば、思い切って50名以上の受講者を集めたところに講師を派遣します。」ぐらいの大胆さが必要ではないでしょうか。 ・この事業は費用対効果や評判からしても、3年間で最高の事業であったと思います。 ・市民活動団体のニーズに応える企画として実施されたことが、参加者の高い満足に繋がったものとして評価したいです。今後の展望もよいと考える。ただし、現状欄に記されている、NPOの専門性やマネジメント能力とは直接関係を持たないと思われませんが、その点についての記述が欲しいです。 ・こうした講座はNPOのスキルアップに必要なものであり、受講者の要望を踏まえ、今後とも続けていただきたいです。</p>